

■新センターにおける基本方針と事業体系

新たな科学センターの5つの基本方針

- (1) 指導員と共に創り出す、科学好き少年・少女を育み支える学びの場
- (2) 地元ゆかりの科学者・技術の情報発信
- (3) 豊かな自然を活かし、全身で遊んで学べるわくわくする科学館
- (4) 自然災害時に自ら考え、行動できる市民を育てる防災科学教育
- (5) 岩国ならではの魅力の追求による、個性と魅力あふれる科学館づくり

岩国市教育基本計画より

事業体系

1	学校連携事業	学校とともに「理科好きの子供」を育む (1) 理科学習支援 (2) 理科教育の振興 (3) 学校等の利用
2	科学体験事業	多彩な事業で「科学を楽しむ心」を育む (1) 科学体験事業開催 (2) 科学クラブ等の活用支援
3	岩国の科学と防災学習事業	郷土を科学し「生き抜く力」を育む (1) 岩国の自然と防災学習 (2) 岩国ゆかりの科学者や科学技術を紹介
4	基本活動	次世代に継承できる科学センターの基礎を作る (1) 連携・ネットワークの構築 (2) 教材研究・開発、収蔵資料の管理 (3) 情報発信 (4) 職員の育成、職場環境の整備

岩国市科学センターは昭和35年の開館以来、科学教室や科学クラブ、科学の祭典やスズムシの無料配布など多彩な事業活動を継続し、子供たちの科学教育を支援する場所として長く親しまれてきました。

移転後における新科学センターでは、新たな核となる事業として、小中学校と連携し、学習指導要領に基づく理科授業の実施、学習支援を行います。また、子供から大人まで幅広い世代が楽しく学べる科学館として様々な自主事業を展開します。

新科学センターは、市民の科学教育の中心施設として、これまで培われてきた活動の伝統と成果を継続するとともに、黒磯地区の自然に囲まれた豊かな環境と、福祉と科学が融合する複合施設であるという特徴を最大限に活かし、さらなる発展を目指します。

■平面図（2F）うぐいす色が科学センター部分



■スケジュール

	5年度	6年度	7年度	8年度
建物新築工事				
外構等工事				
常設展示製作業務				
開設準備				

■展示室

常設展示を幅広い世代が、いつでも楽しく科学を学べる空間とします。

特別企画展を開催し、市民に様々な分野の科学情報に触れる機会を提供します。

■実験室（40人収容2部屋）・実験準備室

児童生徒に対して、科学センターだからこそできる理科学習を提供します。

子供や市民を対象とした科学教室を開催します。

■工作室（40人収容1部屋）・工作準備室

科学クラブの活動を行います。

子供や市民を対象とした工作教室を開催します。

■資料室・課題研究スペース

科学に関する書籍・専門書の閲覧できる場所を設けます。

自由に課題研究ができる場所を提供します。

